

就学前教育推進計画

I 推進施策

1 主体的で創意に満ちた 保育の推進

- (1) ふるさと教育・キャリア教育の趣旨を生かした保育の推進
- ① 地域の自然や文化など身近な環境と十分な関わりをもたせ、ふるさとへの愛着心を育む。
 - ② キャリア教育の視点を重視したふるさと教育を推進する。
 - ③ 小学校や地域の人々との交流活動により、多様な感動体験や表現活動が展開できるように工夫する。
- (2) 特色ある園の創造
- ① 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨や内容についての理解を深め、教育課程・保育課程の改善・充実を図る。
 - ② 学校(園)評価等の情報を積極的に公表し、家庭や地域との連携の下に、園運営の改善・充実を図る。
- (3) 子育て支援の充実
- ① 子どもの育ちを家庭と共有し、保護者との信頼関係づくりに努める。
 - ② 保護者のニーズを踏まえ、地域に施設や機能を積極的に開放し、親と子が育ち合う場を提供する。
 - ③ 安定した親子関係や養育力の向上を目指した家庭への支援を推進する。

2 心豊かで、たくましい 子どもを育む指導・援助

- (1) 自分の世界を広げ自立できる子どもの育成
- ① 子どもが主体的に環境に関わり、自ら成長しようとする意欲や態度を育む。
 - ② “「問い」を発する子ども”の育成を目指し、遊びや生活の中で子どもが安心して自己を表出できる環境づくりに努める。
- (2) 一人一人の発達の課題に応じた指導・援助
- ① 子どもの発達の特性や課題を的確に捉え総合的な発達を引き出す保育を展開する。
 - ② 集団生活の中で子どもがきまりの必要性に自ら気付くことができるようにし、規範意識の芽生えを育てる。
 - ③ 特別な教育的支援を必要とする子どもについての理解を深め、特別支援教育コーディネーターを核とした園内支援体制を整えるとともに、関係機関と連携し、より適切な支援ができるように努める。
- (3) 豊かな心と健やかな体の育成
- ① 5領域のバランスを考慮し、心身の調和がとれた発達を促す総合的な保育を展開する。
 - ② 健康な生活を送ることができるように、一人一人の生活の状況を把握し、家庭と連携して生活リズムを整える。

3 主体的な活動を促す 教育課程・保育課程の推進

- (1) 主体的な活動としての生活や遊びを促す教育計画や保育の計画
- ① 子どもが興味をもって環境に関わり、主体性を十分発揮できるように、行事等を含む園生活全般の内容を吟味した教育計画や保育の計画を作成する。
 - ② 物事への気付きや発想を大切に、自ら考え、多様に表現できるような保育を展開する。
- (2) ねらいを明確にした指導計画
- ① ねらいと内容を明確に設定し、一人一人の子どもの興味・関心に柔軟に対応できる指導計画を作成する。
 - ② 保育の過程について評価や振り返りを適切に行い、常に指導計画の改善を図る。
- (3) 就学後の学びにつながる保育
- ① 一人一人の子どもの発達に必要な体験が得られるよう、意図的・継続的・系統的に環境の構成を工夫する。
 - ② 互いに思いを伝え合い、生活や遊びを通して他者と関わって活動する楽しさを味わうなど、協同する経験の充実を図る。
 - ③ 幼児期の終わりまでに育てたい姿を明確にし、就学前教育と小学校教育との円滑な接続を目指して保育の改善を図る。

4 幅広い識見と実践的指導力を 培う保育者の研修

- (1) 信頼され魅力ある保育者をめざす自己研修
- ① 自らの教育・保育実践の成果と課題を明確にした上で、計画的に研修を進め、指導力の向上に努める。
 - ② 一人一人が課題意識をもって園内外の研修会に参加し、保育者としての視野を広げ専門性を高める。
- (2) 園を活性化させるための研修
- ① 自園の課題を共通理解し、教職員の参画意識を高め、PDCAサイクルを生かした園内研修の工夫・充実に努める。
 - ② 他園や小学校などに積極的に保育を公開したり、相互交流をしたりして、園全体としての教育力向上を図る。
- (3) 今日的な教育課題に対応するための研修
- ① 言語活動や協同する経験の充実など教育内容に関する主な改善事項を、教育課程・保育課程に適切に位置付けるための研修を推進する。
 - ② 自園の安全に関する計画等を見直すとともに、子どもたちにとって安全で安心できる園づくりのための研修を推進する。
 - ③ 就学前におけるキャリア教育の在り方について、保育者一人一人が理解を深めるための研修を推進する。